

バリアフリー法及び関連施策の検討に係るこれまでの経緯と今後の予定

【これまでの経緯】

ユニバーサルデザイン2020行動計画(2月20日ユニバーサルデザイン2020関係閣僚会議決定)

バリアフリー法を含む関係施策について、共生社会の推進や一億総活躍社会の実現の視点も入れつつ、29年度中に検討を行う等により、そのスパイラルアップを図る。

国土交通省2020年東京オリンピック・パラリンピック
競技大会準備本部 バリアフリーワーキンググループ

座長:国土交通副大臣
構成員:政務二役、次官、局長等

2/27 検討の開始

幹事会を3回開催(3月、5月、6月)

6/27 「バリアフリー法及び関連施策の見直しの方向性
について」をとりまとめ

バリアフリー法及び関連施策のあり方に関する検討会

座長:秋山哲男(中央大学教授)
構成員:学識経験者、障害当事者、事業者団体の代表等
(合計26団体)

3/15 第1回 主要検討項目について論点整理

5/23 第2回 対応の方向性(素案)について議論

6/13 第3回 報告書(案)について議論⇒6/27 公表

【これからの予定】

11/2 第4回 対応の方向性が示された施策の検討状況について

12月中旬以降 第5回 方向性が示された施策の見直しについて

1月上旬 バリアフリー法及び関連施策の見直しについて